

(6) 設備投資

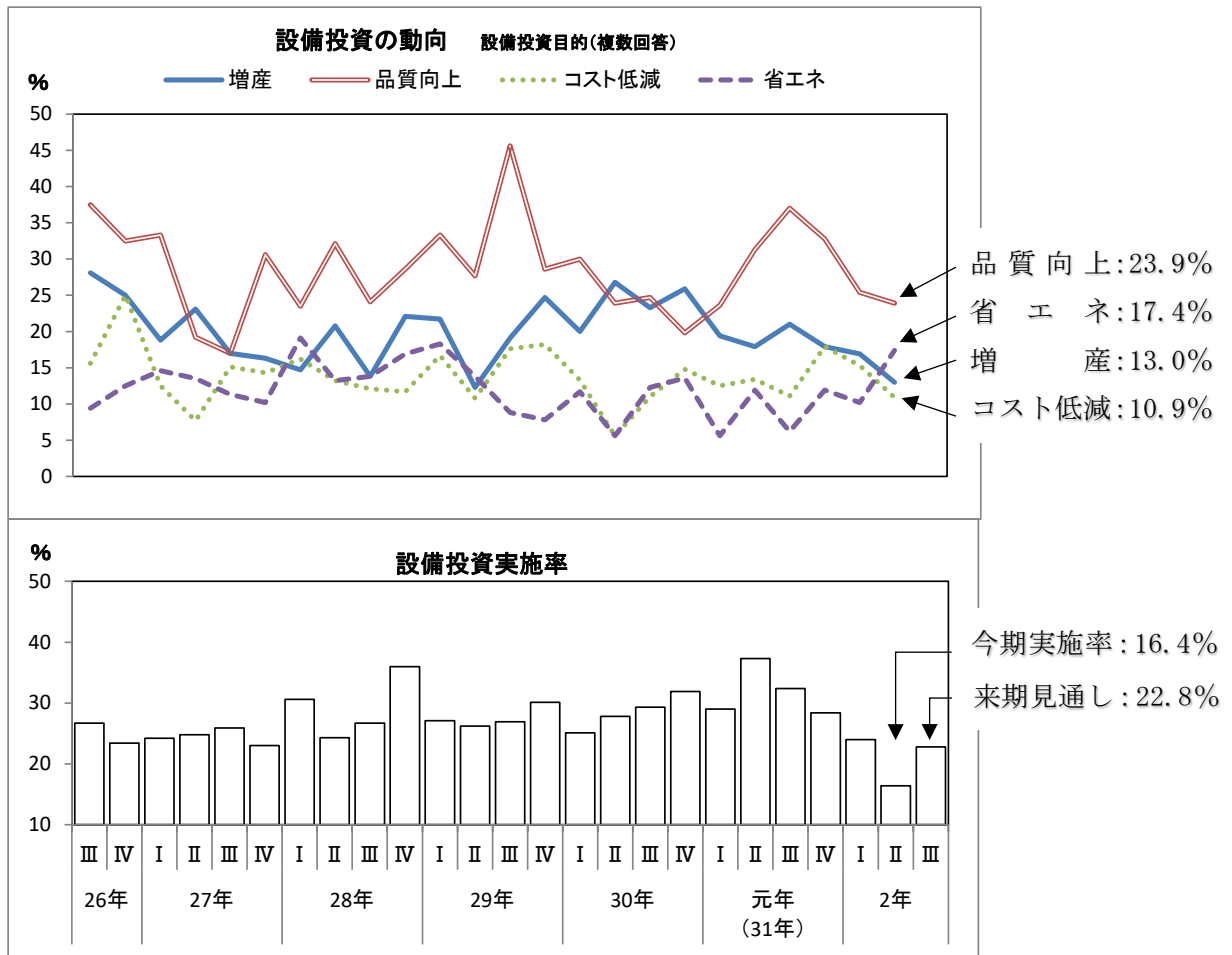
設備投資実施率については16.4%となり、前回調査より7.6ポイント下降している。業種別で高い実施率となったのは、「機械・機器(26.7%)」で、その他の業種については20%を下回る結果となった。なお、目的別では「品質向上」が23.9%、「省エネ」が17.4%、「増産」が13.0%、「コスト低減」が10.9%となっている。

来期の設備投資計画率（令和2年7-9月期の設備投資計画）については22.8%となり、前回調査の23.2%から0.4ポイント下降している。

設備操業率については、前期比で「上昇」したとする企業は2.1%、「下降」したとする企業は60.1%で、DIは▲58.0となり、前回調査の▲31.6から26.4ポイント下降している。

【図表 13、14】

【図表 13】



【図表 14】

	設備投資			設備操業率 前期比		
	実施	不実施	DI	上昇	下降	DI
食料品	18.2	81.8	▲ 63.6	6.1	57.1	▲ 51.0
繊維	5.6	94.4	▲ 88.8	0.0	59.3	▲ 59.3
木材	5.3	94.7	▲ 89.4	0.0	52.6	▲ 52.6
紙・加工品	7.1	92.9	▲ 85.8	0.0	71.4	▲ 71.4
窯業・土石	18.2	81.8	▲ 63.6	5.1	23.1	▲ 18.0
金属	13.9	86.1	▲ 72.2	0.0	80.8	▲ 80.8
機械・機器	26.7	73.3	▲ 46.6	0.0	69.8	▲ 69.8
プラスチック	18.8	81.3	▲ 62.5	0.0	93.8	▲ 93.8
合計	16.4	83.6	▲ 67.2	2.1	60.1	▲ 58.0